

## ぐるなび：5期ぶりの黒字計画を発表

売上拡大を軸とした本格的な再成長へ

- ・2024年3月期の損失は期初予想値の半分以下に縮小
- ・飲食店支援事業の成長力を高める施策を推進
- ・多くの笑顔が溢れる場「宴会」を応援するキャンペーンを準備中

株式会社ぐるなび（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：杉原章郎 以下、ぐるなび）は2024年5月14日（火）、2024年3月期決算および2025年3月期業績見通しを発表しました。

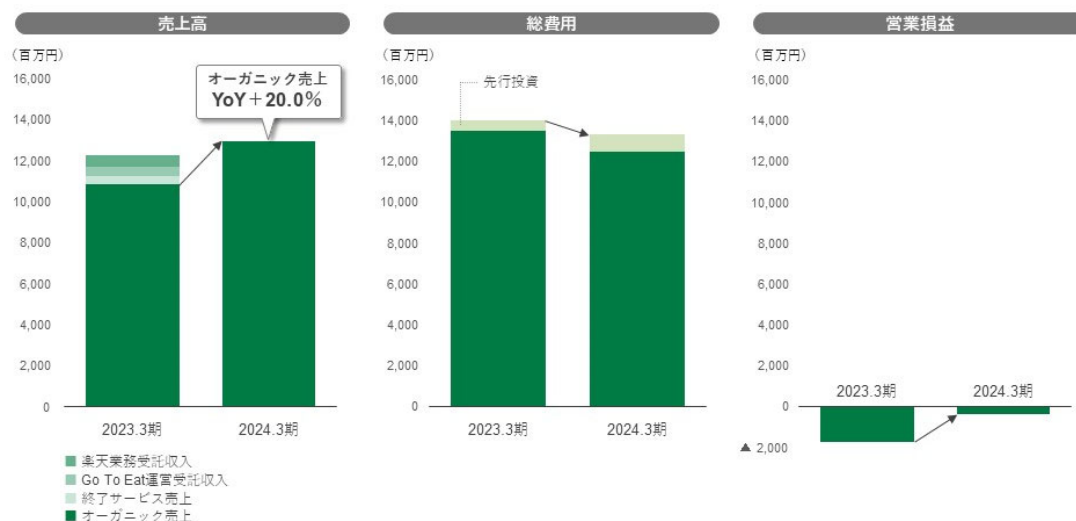
### ■2024年3月期 業績

コロナ禍において減少が続いていた売上高については、前期の特殊要因の解消による押し下げ影響がある中、オーガニック売上（※）の順調な回復により増収となりました。そして前期に実施した経営資源配分見直しの効果に加え、全社的な高いコスト意識の徹底により費用が低減したことから、営業損益は△3.3億円と前期（△17億円）はもちろんのこと期初予想値（△7億円）より縮小して着地しました。

（※）経営資源配分見直しの一環として前期終了したデリバリーサービスなどの売上と、「Go To Eat キャンペーン」の運営受託収入などコロナ禍における一時的施策による収入などの特殊要因を除く売上

## 決算概要

### 特殊要因を除くオーガニック売上が回復 営業損失は大幅改善



### ■2025年3月期の取り組み

また同時に、新年度の基本方針および業績見通しを発表しました。



## 2025年3月期 通期業績予想 (1)

飲食店支援事業の成長力を引き上げ、次期以降の利益拡大確度を高める

(単位：百万円)	2024年3月期 (実績)	2025年3月期 (予想)	変化率
売上高	12,982	14,250	+9.8%
営業利益又は営業損失	-339	150	—
経常利益又は経常損失	-277	130	—
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失	-363	110	—

### 売上高

- ✓ 飲食店支援事業の拡大が牽引
- ✓ 飲食店向け新商品の成果は2025年3月期後半に顕在化、本格的な業績寄与は次期以降

### 費用

- ✓ 飲食店支援事業の企画／運用体制の強化に向けた採用費・人員関連費用の増加を見込む
- ✓ 2023年3月末に実施した減損処理により2024年3月期において低減されていた減価償却費が増加
- ✓ 貸倒引当金がコロナ禍からの加盟飲食店の経営環境改善を受けて2024年3月期に発生した戻入影響の解消により増加

(株主還元) 今後の安定的な経営のためには手元資金の確保および内部留保の充実に重要であり、普通株式に係る配当については見送る所存

現在、当社では楽天ポイントが貯まる飲食店予約サイト「楽天ぐるなび」において、生活者の皆さまに外食をもっと便利にお得にお楽しみいただけるよう、新たなキャンペーンの開催準備を進めています。

“多くの笑顔を生み出す力”を持ちつつも、コロナ禍における自粛要請などにより影をひそめてしまった「宴会」。その魅力・楽しさを再発見する機会となれば幸いです。



本キャンペーンを通じて、外食市場のさらなる活性化を後押しするとともに、当社業績の黒字転換とその後の利益拡大へとつなげてまいります。

### ■ 最新の IR 資料

<https://corporate.gnavi.co.jp/ir/library/>